

## 庄原市立庄原中学校 第1学年 美術科学習指導案

## 題材名：庄原PR大作戦

日時 平成30年11月15日(木) 2校時(9:45~10:35)  
 場所 美術教室  
 学年 第1学年3組(男子16名, 女子20名, 特別支援学級生徒2名, 計38名)

## 題材について

中学校学習指導要領美術編(平成29年)の第1学年 A表現を受け, 本題材を設定した。特に, A(1)イ「(イ)伝える目的や条件などを基に, 伝える相手や内容などから主題を生み出し, 分かりやすさと美しさなどの調和を考え, 表現の構想を練ること。」及びA(2)ア「(ア)材料や用具の生かし方などを身に付け, 意図に応じて工夫して表すこと。」に重点をおいて指導を行うことができる題材である。

本題材は, 生徒の考える庄原市の魅力や庄原市に住む方々の思いを基に, 生徒が庄原市の魅力を伝えるためのポストカードを制作していく。見る人の目を引き, 他者に伝わりやすいデザインを意識させるために, 効果的な構成や配色, イラストなどを考えさせたり, 意図に応じてモダンテクニックなどの技法を取り入れさせたりすることにより創造的に表現させることができる題材である。

生徒が小学校の総合的な学習の時間に行った庄原市の伝統・文化や庄原市のよい面についての調べ学習と関連させ, さらに発展させることで, 造形的な視点をもって構成や配色, イラストなどを創意工夫して創造的に表現する力を美術科で育成できると考える。

## 生徒の実態について

美術科で1年生に行ったアンケートでは, 次のような実態が明らかとなった。調査項目は次の通りである。

(%)

質問項目	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
(1) よりよい作品を作りたいと思いながら作品を制作しています。	81.5%	16.0%	2.5%	0%
(2) 作品を制作する時は, 自分なりにテーマを決め, そのテーマを表現することを意識しています。	57.8%	34.2%	6.0%	2.0%
(3) 色を塗って完成した自分の作品に自信がもてます。	27.0%	56.8%	10.8%	5.4%
(4) 授業で学習したポスターカラーの使い方(混色, 平塗り, 溝引き, 筆の使い分けなど)ができます。	52.6%	47.4%	0%	0%
(5) ポスターカラーの使い方の中では平塗りが1番苦手です。	68.4%	0%	31.6%	0%

(1)(2)より, よりよい作品を作りたいと思いながら作品制作に取り組んでいる生徒が97.5%であり, 自分なりに決めたテーマを表現することを意識して制作している生徒が92.0%である。この結果より, 作品の制作への意欲は高く, テーマを表現しよう意識しながら作品を制作していることが分かる。また, (3)より, 自分の作品に自信がもてる生徒が83.8%と十分に高いとは言えないが, 5月の時点での肯定的回答は76.2%であったため, 徐々に自分の作品に自信がもてるようになってきていると言える。生徒は1学期にポスターカラーを用いてグラデーションの技法を取り入れた絵文字を制作した。この制作を通して, グラデーションの技法は十分身につけており, 強調したい部分など, 意図に応じて作品に効果的に取り入れることができる。日頃の授業においても, 下描きの段階の作品や完成した作品を生徒が相互鑑賞し, 互いの作品のよさや工夫を感じ取って伝え合ったり, テーマを表すための効果的な表現をしている生徒の作品を教師が取り上げ, 生徒に「どの部分の表現が効果的だと思ったか。」を発表させたりするなど, 学級全体でそれぞれの作品のよさや工夫を共有させている成果が表れていると考えている。

(4)より, ポスターカラーの基本的な使い方ができる生徒が100%であり, 技能について自信をもつことができているが, (5)より, 68.4%の生徒は平塗りが難しいという思いをもっており, 実際には技能が十分には身につけていない。

いことが課題である。また、色の感情効果など色のもつイメージが十分にもておらず、どのような配色にすればよいか悩む生徒や彩色の手順が十分に理解できていない生徒が一定数いることも課題である。

総合的な学習の時間に第1学年で行ったアンケートでは、次のような実態が明らかとなった。調査項目は次の通りである。

質問項目	(%)						
	備北丘陵公園	上野池	帝釈峡	比婆山	スキー場	地域行事	その他
(1) 庄原のことを知らない友達をあなたは庄原のどこへ案内しますか。(複数回答可)	57.8%	23.6%	15.7%	13.1%	13.1%	13.1%	15.0%
	絵などの作品	レポート	作文				
(2) 庄原の魅力をどんな方法で紹介したいですか。(複数回答可)	66.6%	36.1%	11.1%				

(1) より、自然や寒冷地の気候を生かした公園や遊戯施設に案内するという意見や、豊かな自然を見せたいという意見が多かった。また、場所に限らず、「人があたたかい」、「農業が盛ん」、「庄原ならではのソウルフードや特産物」などが庄原市の魅力だと考えている生徒もいる。

(2) より、絵を描いて庄原のよさを知らない人に見せると考えている生徒が多数おり、生徒の制作への意欲は高いと考えている。

## 指導にあたって

### 心動かし

- ・本時までには、生徒は他の題材において先輩や友達の作品から気付いたよさや工夫を基に自分の作品をよりよくするための工夫を重ねてきた。本題材の1時間目に、他の自治体の観光ポストカードを鑑賞し、ポストカード制作のポイントを生徒に気付かせた上で、ポストカードの制作に取り組みさせる。
- ・1学期に習得した平塗りやグラデーションの技法に加えて、本時までにはスパッタリングとドリッピングの技法を体験させることで、さらに生徒の表現の幅を広げ、生徒が習得した技法の中から意図に応じて表現方法を選択し、効果的に表現できるようにする。
- ・彩色する時間の導入では、参考作品の写真を提示し、それぞれの作品の効果的な表現に気付かせることで、「自分自身も自分の伝えたい内容がより効果的に伝わるようなポストカードを制作したい。」という制作への前向きな思いに繋げる。

### 対話し

- ・先行研究を参考に、1枚ポートフォリオを用いて指導を行う。表現意図や彩色の計画を明確にさせた上で、制作の過程で1枚ポートフォリオを活用させ、見通しをもちながら制作できるようにする。本題材の1枚ポートフォリオでは、制作の計画を立てる欄に、表したいイメージとそのイメージを表すために効果的な色を書く欄を設けることで表したいイメージを具体化させる。また、色の感情効果など色のもつイメージが十分にもておらず、どのような配色にすればよいか悩む生徒が一定数いるため、色彩の既習事項を本時までには確認し、定着を図っておく。
- ・デザインを決め、配色や制作の計画を立てた時点で相互鑑賞を行い、互いの作品から気付いたよさや工夫を1枚ポートフォリオに記入させ、制作の過程で生かすことができるようにする。また、教師は、彩色の前の生徒の1枚ポートフォリオに教師の肯定的な評価を記入する。特に、配色のイメージが十分にもてない生徒には、生徒にテーマを表すための効果的な配色や表現方法を考えさせるための助言を記入しておき、生徒が助言を参考にしながら効果的な配色や表現方法を自分で考えて制作できるようにする。次に、彩色の際は試し塗りをさせることで、自分のイメージにふさわしい彩色を探究できるように指導する。また、色のもつイメージについて学習したことをまとめたプリントを用意しておき、生徒の発想が広がるようにする。
- ・制作途中の友達の作品を鑑賞し、作品のよさや工夫に気付かせた上で、改めて自分の作品と対話させ、自分が表したいテーマを表現するための効果的な方法を深く考えさせる。
- ・本時のまとめとして、自分の表したいテーマを表現するための効果的な方法を更に練りながら制作させるために、教師が撮影した生徒の途中経過の作品の写真を提示し、テーマを効果的に表現している部分に気付かせる。

- ・題材の最後の時間に完成した作品の相互鑑賞を行うことで、友達の作品の意図に応じた表現方法の工夫などに気付かせるとともに、それぞれの表現のよさを味わい認め合うことができるようにし、自分の作品に対する自信をもたせる。
- ・地域の方や関係機関と連携を取り、生徒の制作したポストカードの展覧会を行い、一人一人が表現した庄原市の魅力を外部に発信し、達成感をもたせる。

## 題材の目標と評価規準

### <題材の目標>

- (1) ポストカードに関心を持ち、ポストカード制作のポイントに気付いた上で、庄原市の魅力を伝えるためのポストカードの制作について意欲的に構想を練ったり表現方法を工夫したりすることができる。
- (2) 自身の考える庄原市の魅力に加え、庄原市に住む方々の思いも含めた魅力を伝えるために形や色彩の効果を意識したり、分かりやすさや美しさなどを考えたりするなどして表現の構想を練ることができる。
- (3) 表したいテーマやイメージを表現するために、意図に応じて技法や用具を生かすなど表現方法を工夫して表現することができる。
- (4) 互いの作品を鑑賞し、表現意図を表すために工夫した点に気付くことができる。

### <評価規準>

ア 美術への関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
① ポストカードに関心を持ち、ポストカード制作のポイントに気付いて表現しようとしている。 ② 庄原市の魅力を伝えるためのポストカードの制作について意欲的に構想を練ったり表現方法を工夫したりしようとしている。	① 自身の考える庄原市の魅力に加え、庄原市に住む方々の思いも含めた魅力を伝えるために形や色彩の効果を意識したり、分かりやすさや美しさなどを考えたりするなどして表現の構想を練っている。	① 表したいテーマやイメージを表現するために、意図に応じて技法や用具を生かすなど表現方法を工夫して表現している。 ② 用具の特性や、技法が作品にもたらす効果を理解し、意図的・効果的に表すためのモダンテクニックの技法を身に付けている。	① 互いの作品を鑑賞し、表現意図を表すために工夫した点に気付いている。

## 指導と評価の計画

(全12時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				評 価 規 準	評価方法
		関	発	技	鑑		
一	○ポストカードを鑑賞する。(1)	○				ア①ポストカードに関心を持ち、ポストカード制作のポイントに気付いて表現しようとしている。	ワークシート 行動観察
二	○ポストカードで表現したい庄原市の魅力を絵にしながら発想を膨らませる。 ○前時まで膨らませた発想からポストカードにするデザインを決め、制作の計画や配色の計画を立てる。(3)	○	◎			ア②庄原市の魅力を伝えるためのポストカードの制作について意欲的に構想を練ったり表現方法を工夫したりしようとしている。 イ①自身の考える庄原市の魅力に加え、庄原市に住む方々の思いも含めた魅力を伝えるために形や色彩の効果を意識したり、分かりやすさや美しさなどを考えたりするなどして表現の構想を練っている。	ワークシート 行動観察

三	○前時で決めたデザインを鑑賞し、よさや工夫に気付いたりアドバイスをし合ったりする。 ○下描きする。 (2)		○	ウ①表したいテーマやイメージを表現するために、意図に応じて技法や用具を生かすなど表現方法を工夫して表現している。 エ①互いの作品を鑑賞し、表現意図を表すために工夫した点を相互に気付いている。	ワークシート 行動観察 作品
四	○ポストカードの表現方法の幅を広げるために、モダンテクニック（スパッタリング、ドリップング）の技法を体験する。 (1)		○	ウ②用具の特性や、技法が作品にもたらす効果を理解し、意図的・効果的に表すためのモダンテクニックの技法を身に付けている。	ワークシート 行動観察 作品
五	○ポイントを意識して彩色する。 (本時2/4)	○	○	ア②庄原市の魅力を伝えるためのポストカードの制作について意欲的に構想を練ったり表現方法を工夫したりしようとしている。 イ①自身の考える庄原市の魅力に加え、庄原市に住む方々の思いも含めた魅力を伝えるために形や色彩の効果を意識したり、分かりやすさや美しさなどを考えたりするなどして表現の構想を練っている。 ウ①表したいテーマやイメージを表現するために、意図に応じて技法や用具を生かすなど表現方法を工夫して表現している。	ワークシート 行動観察 作品
六	○作品を相互鑑賞する。(1)	○	○	ア②庄原市の魅力を伝えるためのポストカードの制作について意欲的に構想を練ったり表現方法を工夫したりしようとしている。 エ①互いの作品を鑑賞し、表現意図を表すために工夫した点を相互に気付いている。	ワークシート 行動観察 作品

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

意図に応じて表現方法を工夫しながら制作することができる。

### (2) 本時の評価規準

○ウ①表したいテーマやイメージを表現するために、意図に応じて技法や用具を生かすなど表現方法を工夫して表現している。

### (3) 準備物

教科書、参考作品の写真、配色カード、ワークシート、自己評価シート、画用紙（B6）、掲示物、タブレット型PC、電子黒板、スパッタリング用網、ブラシ、新聞紙

### (4) 本時の展開（9/12）

学習活動	指導上の留意事項 <small>発問等</small>	評価規準 【評価方法】
<b>1 導入</b>		
○1枚ポートフォリオに記入した計画を基に自分の作品のテーマを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のテーマをより効果的に表現させるために、1枚ポートフォリオに記入した計画を見てこれまでの制作を振り返らせ、本時に新しく取り入れようと思う表現方法などがあれば書き加えさせるようにする。</li> <li>・電子黒板にモダンテクニックを取り入れた3つの参考作品を提示し、表現意図に応じて創造的に表現するためや、自分の</li> </ul>	

	テーマを表すために効果的だと思うものがあれば、その技法を生かして制作していくよう助言する。	
<b>2 授業のめあてを確認する。</b>		
○本時のめあてを確認する。	自分のテーマに合う表現方法を工夫しながら制作できる。	
○授業の流れを確認する。		
<b>3 彩色する。</b>		
○ポストカードに彩色する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の表したいテーマがより伝わりやすい作品を作るために、試し塗りをしっかりするよう助言する。</li> <li>制作の見通しを持たせるために、机上に1枚ポートフォリオを広げさせておく。また、テーマを表す効果的な配色を考えるために、教師が〔共通事項〕を意識して記入しておいた助言や配色の計画を見ながら制作を進めるよう指導する。</li> <li>彩色や技法の手順などを確認しながら見通しを持って制作できるようにするために、彩色や技法の手順やポイントを板書やICT機器を用いて提示しておく。</li> </ul> <p>◆机間指導をしながら、表したいテーマやメッセージがより伝わりやすい配色はどのようなものか生徒が考えられるよう、本時まで学習した色のもつイメージについてまとめたプリントを見せて支援をする。</p>	ウ①表したいテーマやイメージを表現するために、意図に応じて技法や用具を生かすなど表現方法を工夫して表現している。〔行動観察、作品〕
<b>4 まとめ</b>		
○途中経過の作品の写真を鑑賞する。	・庄原市の魅力を伝えるために効果的な技法や構成、配色などを考え、作品を作る際の参考にさせるために、教師が撮影した生徒の途中経過の作品の写真ICT機器を用いて提示する。	
<b>5 振り返り</b>		
○本時の授業の振り返りを書く。	<p>生徒の振り返りの例</p> <p>私は庄原の冬の粉雪が舞う美しい景色をテーマにしています。粉雪が舞っている感じを表すために、白を塗った上にスパッタリングをしました。今回は、より冬らしい雰囲気になるように、白に近い水色で更にスパッタリングを重ねようと思います。このように寒色を使うので、ポストカードを見た人により庄原の冬が伝わると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分のテーマを表すために本時に工夫したこと（本時の振り返り）と次時はどのように制作していくかを自己評価シートに記入させ、次時の活動につながるようにする。</li> </ul>	

# 板書計画

庄原PR大作戦

本時のめあて

自分のテーマに合う表現方法を工夫しながら制作できる。

参考作品

制作の準備

めあて記入

制作

片付け

まとめ

振り返り

彩色の手順・ポイント

技法の手順